



茨城県歯科医師会 Ibaraki Dental Association

July 2014 平成26年



茨歯会報 No.544



Contents

デンタルアイ <u></u>	1
会務	3
理事会報告	6
会務日誌	7
厚生委員会だより	10
学校歯科委員会だより	11
センターだより	17
専門学校だより	27
地区歯科医師会だより	32
ピンクのエプロン — 大島宏子	39
リレー通信 金 丸 由 幸	40
会員の異動	41
国保組合 NEWS	42
茨歯アンテナ	43
事務連絡 ————————————————————————————————————	45
赤えんぴつ	46

表紙写真について ―

新緑の桂離宮庭園

京都市内にある、宮内庁管理の庭園の一つです。

(社)茨城県南歯科医師会 飯田 昭

#─ムページアドレス http://www.ibasikai.or.jp/

DENTAL © ye

介護保険制度の改正に考える



理事 仲 田 豊

平素より介護保険委員会の事業についてご支援、ご協力いただきありがとうございます。介護保険委員会の主な事業として高齢者の歯と口腔の健康保持のため、口腔ケアの現状把握及び指導を行うとともに専門職の研修など県内各地を回って行っていますが、その都度各地区歯科医師会の先生方にはお世話になりこの場を借りてお礼申し上げます。

日本では、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行し少子化も伴い人口減少がつづいています。人口減少の問題点はいろいろあります。地元の市長選でも、ここ数年で4,000人の人口減少があり争点に上げていました。

新聞等の報道によると、日本の人口がこのまま減少すると2040年には全国1,800市町村のうち半分の存続が難しくなり「消滅可能性都市」となる恐れがあるとしています。人口が集中する首都圏でも女性が大きく減り、出生率も低く都心部にも影響が出ると予想されています。茨城県を見ると水戸市の人口に相当する人口減があるといわれています。人口減で人手不足、過疎など経済や社会に影響が出て財政・社会保障制度も危うくなり、年金・医療・介護の施策も見直しが必要となるでしょう。医療保険は2年ですが、介護保険では3年サイクルの見直しなの

で来年改正が行われます。事業が始まった2000 年は給付総額3.6兆円 保険料は全国平均2,911 円でしたが年々上がり2014年は給付総額10兆円 保険料4.972円 高齢化の進展により団塊の世 代が75歳以上となる2025年には21兆円 保険料 8,200円程度に上昇することが見込まれており、 地域包括ケアシステムの構築を図る一方、介護 保険制度の持続可能性の確保のための重点化、 効率化が必要となっています。要介護(要支 援) の認定者数は平成25年4月現在564万人、こ の13年間で約2.59倍に、このうち軽度の認定者 数の増が大きく、近年増加のペースが再び拡大 しています。今後の介護保険をとりまく状況と して65歳以上の高齢者数は、2025年には3.657万 人になり、2042年にはピークをむかえ3.878万人 に、保険料を納める40歳以上の人口も2025年以 降から減少します。現行の介護保険制度の仕組 みは①要介護者(1~5)に対する介護給付② 要支援者(1・2)に対する予防給付のほか、 保険者である市町村が、事業という形で、要介 護・要支援認定者のみならず、地域の高齢者全 般を対象に、地域で必要とされているサービス を提供する地域支援事業という仕組みがあり、 要介護・要支援以外の高齢者、二次予防事業対 象者などへの介護予防事業は地域支援事業で実 施。市町村の選択により、地域支援事業において、要支援者・二次予防事業対象者向けの介護 予防・日常生活支援に資するサービスを総合的 に実施できる事業が創設されています。

しかし、今の制度で使うお金を抑えなければ 制度が続かない、そんな危機感が改正の背景に なっています。その改正事項に関する内容を考 えてみたいと思います。今回の改正見直し案で は、これまで一律1割に据え置かれている利用 者負担について、相対的に負担能力のある一定 以上の所得の方の自己負担を2割にするとし、 焦点の2割負担になる所得の線引きは、被保険 者の上位20%に該当する合計所得160万以上の者 (単身で年金収入のみの場合、280万円以上) を予定しています。所得の判断は個人単位なの で、世帯収入の割合によっては変わってしまう 不公平感も出てくるので手直しも必要になるの ではないでしょうか。また要介護者の所得分布 は低いため、十分なサービスが受けられない方 もでてくるのではないでしょうか。このほかに も低所得者の1号保険料の軽減強化、補足給付 の見直しとして低所得者の人が施設に入る際に 食事や部屋代を補助する制度についても一定額 を超える預貯金・不動産などがある場合は対象 外とする見直しが予定されています。

次に大きな改定案に予防給付の見直しがあります。制度改正で要支援の人の訪問介護と通所介護 (デイサービス) は全国一律のサービスから市町村が実施主体の事業に、既存の介護事業

所によるサービスに替えて、NPO、民間企業、ボランティアなど地域の多様な主体を活用して高齢者を支援、元気な高齢者は支え手側に回ることも想定しています。しかしサービスの報酬額は市町村が決めるので自治体財政の状況によっては現在の介護報酬より低額になる自治体が出て格差が生まれ、サービスの質の低下が起こり得ないとも限りません。ヘルパー以外の人を活用するにしても人口減が進んでいる現在、人手不足の懸念があると思われます。

もうひとつの改定で特別養護老人ホームの入 所者について要介護 3 以上とするとしていま す。入所を望む重度の要介護者が多数おられる こと等も踏まえ、在宅生活が困難である中程度 の要介護高齢者を支える施設としての機能に重 点化したうえで、要介護 1 や 2 の要介護者で あっても、やむを得ない事情により特別養護老 人ホーム以外での生活が著しく困難な場合には 市町村の適切な関与の下、入所できるとしてい ます。

このような中、各市町村では地域ケア会議が 実施されていると思いますが保険者である市町 村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づ き、地域の特性に応じて地域包括ケアシステム を構築します。歯科医師会は保健・医療・介 護・福祉の充実を図るため各サービスにおいて 歯科的介入を行い、積極的に多職種連携を構築 するべきと考えています。



第155回定時代議員会開催される

6月18日(水)午後1時より茨歯会会館にて第 155回代議員会が開催された。

鈴木副会長の開会の辞の後、春の叙勲により旭 日双光章を受章された丸山宇一先生、瑞宝双光章 を受賞された斯波宏先生に会長から顕彰状と記念 品が贈られた。議事録署名人には田澤重伸議員、 秋葉徹議員が指名され、続いて26年2月から6月 までに亡くなられた泉川勇先生はじめ6名の先生 方に弔意を表す黙祷を捧げた。

森永会長、小澤議長の挨拶の後、議事運営特別 委員会報告、日歯代議員会報告、一般会務報告に ついて報告がなされた。

議事は、第1号議案から第3号議案まで単独審 議で全議案、原案どおり可決された。その後、9 の事前質問について活発な質疑応答がなされた。

第155回定時代議員会日程

日時 平成26年6月18日 (水) 午後1時 場所 茨城県歯科医師会館 会議室

氏名点呼

1. 開 会 の 辞

1. 顕 彰

(1) 叙 勲

1. 議事録署名人指名

1. 物 故 会 員 黙 祷

1. 会 長 挨 拶

1. 来 賓 挨 拶

1. 議 長 挨 拶

1. 報 告

(1) 議事運営特別委員会報告

(2) 日本歯科医師会臨時代議員会報告

(3) 一般会務報告

副 会 長 鈴木 潤一

会 長 森永 和男

茨城県歯科医師連盟会長 髙野 一夫

議 長 小澤 一友

委 員 長 岡田 裕行

日歯代議員 鈴木 潤一

専務理事 征矢 亘

1. 議 事

第1号議案 公益社団法人茨城県歯科医師会定款施行規則の一部を改正する規則案に関する件

第2号議案 公益社団法人茨城県歯科医師会選挙管理委員会規則の一部を改正する規則案に関する件

第3号議案 公益社団法人茨城県歯科医師会平成25年度決算に関する件

【監査報告】

1. 協議事項

所得割負担金から定額会費への移行について

1. 閉 会 の 辞

副 会 長 小鹿 典雄









理事会報告 🥥

第3回理事会

日時 平成26年6月12日 (木) 午後4時 場所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 報告

- (1) 一般会務報告
- (2) 後援名義の使用許可について(県理学療法士会)
- (3) 平成25年度予算・決算実額の比較状況について
- (4) 疾病共済金の支払いについて
- (5) 6月開業予定の歯科医院について
- (6) 上月りょうすけ躍進の集いについて
- (7) 各委員会報告について学術委員会、厚生委員会、医療管理委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 入会申込書の受理について 根本 光氏(つくば地区)の入会を受理した。
- (2) 地域歯科保健フォーラム後援依頼について (日立歯科医師会) 標記について承認した。
- (3) 公開講座後援のお願いについて(土浦石岡 歯科医師会)

標記について承認した。

- (4) いばらき腎臓財団に係る継続支援について 標記について3万円を寄付することとした。
- (5) 予防医学事業推進全国大会の後援について 標記について承認した。
- (6) 口腔センターシンボルマークについて

標記シンボルマークについて承認すること とした。

- (7) 第155回定時代議員会事前質問について標記について協議した。
- (8) 寄付受け入れについて 標記について承認した。
- (9) 備品の廃棄処分について 標記について承認した。
- (10) 茨城歯科専門学校特待生制度規程新旧対照 表(案) について 標記について承認した。
- (11) 在宅療養支援歯科診療所について 標記について県医師会へ案内することとし た。
- (12) 独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議への参加について標記会議への参加について長谷部理事を推薦することとした。
- (13) 講師謝礼について (学校歯科保健研修会) 標記謝礼について承認した。
- (14) 歯科用品商との災害協定について 標記協定について協議した。
- (15) 関東地区役員協議会について 標記協議会について日歯役員の出席依頼に ついて協議した。
- (16) 平成26年度学校保健褒賞受賞候補者の申請 について

標記候補者について会長一任とした。

(17) タービン等の滅菌に関する新聞報道への対応について

標記について、きちんと対応するよう会員 へ周知することとした。

会務日誌

6月12日 第3回歯科助手講習会を開催。「建物・什器・ガス・水道・電気などの保全管理、清掃の 基礎」「歯内療法」について講義を行った。

受講者 64名

6月12日 保険医療機関に対する集団的個別指導が市町村会館にて実施された。

対象医療機関数 43

6月12日 第1回議事運営特別委員会を開催。第155回代議員会日程、タイムスケジュール、事前質問の取扱い、再質問・関連質問の取扱い、質疑応答(すべての場合において)の方法、傍聴について協議を行った。

出席者 岡田議事運営委員長ほか14名

6月12日 第3回理事会を開催。入会申込書の受理、地域歯科保健フォーラム後援依頼、公開講座後援のお願い、いばらき腎臓財団に係る継続支援、予防医学事業推進全国大会の後援、口腔センターシンボルマーク、第155回定時代議員会事前質問、寄付受け入れ、備品の廃棄処分、茨城歯科専門学校特待生制度規程新旧対照表(案)、在宅療養支援歯科診療所、独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議への参加、講師謝礼、歯科用品商との災害協定、関東地区役員協議会、平成26年度学校保健褒賞受賞候補者の申請、タービン等の滅菌に関する新聞報道への対応について協議を行った。

出席者 森永会長ほか20名

6月12日 産業歯科保健研修会が産業保健総合支援センターにて開催された。

出席者 戒田地域保健委員ほか1名

6月18日 第155回定時代議員会を開催。定款施行規則の一部を改正する規則案に関する件、選挙管理委員会規則の一部を改正する規則案に関する件、平成25年度決算に関する件について議事を執り行った後、所得割負担金から定額会費への移行について協議を行った。

出席者 小澤代議員会議長ほか61名

6月19日 第3回広報委員会を開催。会報6月号の校正、会報7月号の編集、茨城新聞歯科コラム、 関東ブロック役員協議会、県民歯科保健大会について協議を行った。

出席者 菱沼広報部長ほか6名

6月19日 第176回日歯代議員会が日歯会館にて開催される(~20日)。平成25年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの付属明細書・財産目録及びキャッシュフロー計算書承認、日歯役員選挙規則一部改正、裁定審議会委員指名、選挙管理委員会委員指名、役員報酬算定審議会委員の欠員に伴う委員承認の件について議事を執り行った。

出席者 森永日歯代議員ほか2名

- **6月20日** 第2回オープンキャンパスを実施。歯科衛生士科に11名、歯科技工士科に2名の参加があった。
- 6月24日 第85回日学歯総会が日歯会館にて開催され、平成25年度貸借対照表および損益計算書 (決算) ほか9議案を可決した。

出席者 森永日学歯代表会員ほか1名

6月24日 水戸口腔センターの摂食嚥下研修会として今年度は全6回を企画。その第1回研修会として、「食べるための構造とメカニズム」について研修を行った。

受講者 91名

6月26日 筑西市と筑西市歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調 印式が筑西市役所本庁舎にて行われた。

出席者 森永会長

6月26日 茨城空港利用促進等協議会総会が水戸プラザホテルにて開催され、平成25年度事業報告及 び決算報告ほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

新基金活用事業の打ち合わせが県庁舎にて行われた。 6月26日

出席者 森永会長ほか1名

後期高齢者医療広域連合運営懇談会が赤塚ミオスにて開催され、会長・副会長の選任ほか 6月26日 について協議を行った。

出席者 鈴木副会長

6月26日 第3回防災・危機管理プロジェクトチーム会議を開催。県・神栖市総合防災訓練、警察歯 科医会全国大会への参加、平成26年度プロジェクトチーム活動内容、机上訓練について協議 を行った。

出席者 小鹿副会長ほか10名

6月28日 厚生労働省医政局歯科保健課長 鳥山佳則先生講演会を茨歯会館にて開催。鳥山先生が 「歯科保健行政の現状と課題」について、県保健予防課主任 瀧澤伸枝先生が「茨城県の歯 科口腔保健の現状」についてそれぞれ講演された後、「食生活と歯科(口腔)保健」につい て参加各団体パネリストによるパネルディスカッションを行った。

参加者 森永会長ほか78名

7月 2日 いばらき高齢者プラン21推進委員会が県庁舎にて開催され、第5期いばらき高齢者プラン 21の進捗状況ほかについて協議を行った。

出席者 仲田理事

第4回歯科助手講習会を開催。「保存修復」、「歯冠修復」、「有床義歯」、「歯周治 7月 3日 療」について講義を行った。

受講者 61名

7月 3日 日立市と日立市歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調 印式が目立市役所にて行われた。

出席者 森永会長ほか2名

県総合防災訓練 第2回会議が神栖市中央公民館にて行われた。 7月 3日

出席者 小林防災・危機管理PT委員長ほか4名

茨城歯科専門学校にて入試説明会を開催。参加9校に対し、平成27年度入学生入試につい 7月 3日 て説明を行った。

出席者 小鹿校長ほか1名

7月 3日 第2回厚生委員会を茨城町オールドオーチャードGCにて開催。第36回親善地区対抗ゴル フ大会、歯と口の健康フェスティバルについて協議を行った。

出席者 千葉厚生部長ほか10名

7月 7日 内外情勢調査会7月例会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

7月 8日 国民体育大会茨城県準備委員会総会が水戸プラザホテルにて開催され、平成25年度事業報 告(案)ほかについて議事が執り行われた。

出席者 森永会長

7月 9日 県要保護児童対策地域協議会代表者会議が県庁舎にて開催され、要保護児童対策の現状等 ほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

7月10日 第3回地域保健委員会を開催。親と子のよい歯のコンクールについて書類審査と審査会準備を行った。

出席者 渡辺地域保健部長ほか3名

7月10日 親と子のよい歯のコンクール審査会を開催。「母と子」コンクールに20組、「父と子」コンクールに8組の応募があった。

審査の結果、「母と子」部門の最優秀に野村亜紀子・大雅さん母子(下妻市)を、優秀に後藤まどか・勇翔さん、古宇田貴美子・大貴さん、河野早苗・蒼大さん、鹿尾祐子・結衣さんの4組を選出。「父と子」部門の最優秀に鶴田直樹・美優さん父子(つくばみらい市)を、優秀は持田裕輔・弦音さん、小金井賢・悠生さんの2組が選ばれた。

出席者 入江県保健予防課課長ほか4名、森永会長ほか8名

7月10日 地域保健委員会幹部会議を開催。産業保健、歯と口の健康フェスティバル、歯科保健賞、フッ化物活用事業、禁煙研修と生活習慣病の研修会、関東ブロック役員連絡協議会について協議を行った。

出席者 渡辺地域保健部長ほか3名

7月10日 あおい法律事務所 飯島章弘弁護士を招いて「医療過誤で訴えられないために〜医事紛争 になってしまったら」をテーマに講演会を開催した。

受講者 36名

7月13日 茨城県つくば歯科医師会との共催により全国共通がん医科歯科連携講習会をつくば市において開催。がん医療に携わる歯科医師の人材育成を目的にDVDによる講習会を行った。

受講者 47名

7月13日 全国共通がん医科歯科連携講習会を茨城西南歯科医師会との共催で古河市にて開催。がん 医療に携わる歯科医師の人材育成と全国のレベル統一を図るためDVDによる講習会を行った。

受講者 39名

7月14日 労働保険適正加入推進員研修会がホテルレイクビュー水戸にて開催され、労働保険未手続事業一掃対策ほかについて研修が行われた。

出席者 須能

7月16日 未就業歯科衛生士復職支援のための講習会を開催。シャープニング、スケーリング、エアフローの実習と質疑応答を行った後、希望者に対して就職相談を実施した。

受講者 17名

7月16日 第3回社会保険正副委員長会議を開催。第3回委員会、指導、新規集団指導の立会、理事会、審査の内容、医療アドバイザー招聘について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか2名

7月16日 第3回社会保険委員会を開催。疑義、新規集団指導の立会、審査委員連絡協議会、合同協議会、医療アドバイザー招聘について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか11名

厚牛殼

第47回 関東地区歯科医師親善ゴルフ大会報告

薄井 稔 (社) 水戸市歯科医師会

平成26年5月29日(木)、第47回関東地区歯科 医師親善ゴルフ大会が開催されました。

今年は山梨県主催で、男子プロトーナメント開 催コースの富士桜カントリー倶楽部です。

近年、真夏の開催が多かったのですが、今年は 梅雨入り前の新緑の季節での開催となりました。 富士桜カントリー倶楽部は富士山山麓の傾斜地に 造られた錯覚を起こしやすいコースで、特にグ リーン上での転がりはキャディー抜きでは全く歯 が立ちません。

トップは7時30分スタート、私は最後から4組 前の10時20分スタート。練習グリーンでスタート を待っていると、もうトップスタート組が9ホー ルを終え戻ってきました(今日は長い一日になり そうだな…)。

殆どの参加選手がシングルプレーヤーですが、 トーナメントコースのタフさに皆苦戦していまし た。私達の組が丁度7番目のホールをプレーしよ うとした時、急に強い風が吹き始め暗くなり、稲 妻と共に雷鳴が轟きました。直ちにプレー中断と の合図(12時過ぎ頃だったでしょうか)、雷の中 でのゴルフは禁忌です!

カート内で待機との指示後1時間位経過した 頃、雨風が強くなり急に気温が下がってきまし た。空腹と寒さ(半袖ではとても寒い)と不安か ら、山で遭難するとはこんな状況なんだろうなと 思いました。ゴルフ場からは何の指示もなく、と ても耐えきれず自分達の判断でクラブハウスへ戻

りましたが、他のカートも続々とクラブハウスへ 戻ってきました。雷は止まず、競技委員会での検 討後全員が何とか9ホールを消化するようにとの 決断で、昼食もとれず2時30分からプレー再開と の通達。しかし2時30分になっても雷は止まずに 更に待機、やっと3時過ぎにプレー再開。メンタ ルの弱い私は、再開後のラウンドは全くスコアー になりませんでした。ゴルフは自然との戦いと言 われますが、今回はレベルが違い過ぎました(全 員最初の9ホールだけのスコアーで集計が行われ ました)。

結局私は9ホールしかプレーしませんでした が、やはりとても長い一日となりました。

しかし、パーティー開始頃には青空が広がり、 見事な富士山を眺める事ができました!

来年は埼玉県主催で、6月に大利根カントリー クラブでの開催が予定されています。



学校 齿科 委员

第14回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会報告

荻野 学校歯科委員会 義重

平成26年5月10日(土)和歌山県和歌山市ホテ ルグランヴィア和歌山において第14回日本スポー ツ・健康づくり歯学協議会が開催され、茨城県歯 科医師会からは長谷部学校歯科担当理事と荻野が 参加してまいりました。

これに先立ち第14回日本スポーツ・健康づくり 歯学協議会・幹事会が開催されました。

司会には日本スポーツ・健康づくり歯学協議会 幹事長で岐阜県歯科医師会常務理事の西脇 孝彦 先生が就かれ、開会の辞は日本スポーツ・健康づ くり歯学協議会副会長の浅野 正樹先生、挨拶は 日本スポーツ・健康づくり歯学協議会会長の杉山 義祥先生より近況報告を含めてなされました。

幹事会においては平成25年度日本スポーツ・ 健康づくり歯学協議会事業報告並びに日本スポー ツ・健康づくり歯学協議会幹事会役員について報 告がなされました。

議事につきましては平成25年度日本スポーツ・ 健康づくり歯学協議会会計収入支出決算につい て、および第15回日本スポーツ・健康づくり歯 学協議会開催県について行われました。協議では スポーツ歯学の取り組みに関するアンケート調査 について、第14回日本スポーツ・健康づくり歯 学協議会並びに懇親会、和歌山県歯科医師会マウ スガード製作講習会の運営について協議されまし た。

開催県については、来年第15回は岩手県とな り、その後の国民体育大会の開催県として平成28 年愛媛県、29年福井県、30年茨城県となり、プ レ大会年度には日本スポーツ・健康づくり歯学協 議会が開催されているので、30年度には茨城県に おいても日本スポーツ・健康づくり歯学協議会開 催もあり得ると言う発言も杉山会長からあり、長 谷部部長とともに緊張させられる場面もありまし た。

幹事会に引き続き第14回日本スポーツ・健康づ くり歯学協議会が開催され、以下報告事項が述べ られました。





- (1) 平成25年度日本スポーツ・健康づくり歯学 協議会事業報告について
- (2) 日本スポーツ・健康づくり歯学協議会役員 について
- (3) 平成25年度日本スポーツ・健康づくり歯学 協議会会計収入支出決算について
- (4) スポーツ歯学の取り組みに関するアンケー ト調査について
- (5) 第14回日本スポーツ・健康づくり歯学協 議会懇親会並びに和歌山県歯科医師会マウス ガード製作講習会の運営について
- (6) 第15回日本スポーツ・健康づくり歯学協議 会開催県について
- (7) その他

引き続き講演が行われ、

演題「公認スポーツデンティストの役割」とし て講師の公益社団法人日本歯科医師会 常務理事 中島 信也先生から、公認スポーツデンティス トの経緯から講習会に至るまでの日本歯科医師会 の流れと、これから公認スポーツデンティストと して国体や一般アスリート、すべてのスポーツ愛 好者を含め広く国民の健康づくりにも寄与してい く事などをはじめ、日本歯科医師会、日本スポー ツ歯科医学会、SHP(日本スポーツ・健康づくり 歯学協議会)、日本体育協会、学校歯科医会との 連携を取りつつ、さらなる発展をしていかなけれ ばならないことなど丁寧な説明がなされました。

二つ目として「もう邪魔とは言わせないマウス

ガード製作法とその効果」という演題で講師の大 阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座 歯科補綴学第二教授 前田 芳信先生から、マウ スガードの適合性をよくするためのポイントとい うことで、「なぜ邪魔と感じられるのか」、「問 題解決のカギとは」、「マウスガードの使用効果 については一、ということを含めて日本スポーツ 歯科医学会のエビデンスに基づいたお話と、マウ スガードを使用するにあたって日本スポーツ歯科 医学会ワークショップで作成された注意書きなど も提示され、さらなる展開が示された講演会とな りました。



日本学校歯科医会総会報告 第85回

長谷部 学校歯科委員会 和子

平成26年6月24日(火)午後1時30分より日本 歯科医師会館において一般社団法人日本学校歯科 医会第85回総会が行われ、本会から代表会員とし て森永会長と私が出席しましたので、その概要を 報告いたします。

氏名点呼は受付名簿にて省略され、出席人数の 確認報告により総会開催確定後、齊藤副会長の開 会の辞、議事録署名人の指名がありました。続い て、84回総会以降の物故会員26名に対して黙祷が 捧げられました。

清水会長の挨拶として、「本日は一般社団法人 となっての初めての決算総会であるが、昨年9月 に不適切会計問題が発覚し実態解明に向けて努力 してきたが、使途不明金を計上するのは残念であ る。現執行部は7月からとはいえ責任がありお詫 びを申し上げる。二度とこのようなことが起きな いように事務体制を変えた。」と話されました。

続いて、来賓の日本歯科医師会大久保会長、文 部科学省スポーツ青少年局学校健康教育課長より 挨拶がありました。

報告事項として、会務現況報告が土屋常務理事 より、会計現況報告が長沼常務理事よりありまし た。会計の諸問題を改善するために4月1日より 公認会計士の資格を持つ人を職員として採用した ことと、複数の職員が会計の流れに関われるよう にし最終的には会計担当常務が把握できるように 改善したことが報告されました。つづいて各種委 員会報告が川本専務理事よりありました。主な報 告内容としては、

- ①学術委員会:今後の健康診断の在り方につい て3つの小委員会で検討。
- ②普及委員会:特別支援校での歯科保健活動に使

用する指導資料・教材を26年度末に発刊予定。

- ③広報委員会:会誌9月号は「特集 学校にお ける健康診断の在り方を考える」日学歯新定 款も掲載。
- ④生涯研修制度運営委員会:専門研修におい て、25年度に3領域すべて研修を修了したも のは22名。本年度5月で8名追加。
- ⑤生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進 委員会:25・26年度は全国30校で研究事業 を行っている。今年は研究発表をしていただ く。次期の事業は各加盟団体1校に戻し事業 を行う。
- ⑥各種モデル事業推進委員会:
 - ○私立学校歯科保健推進モデル事業
 - ○食育推進モデル事業
 - ○歯・口の外傷予防と安全教育モデル事業 実施前アンケートの提出。
- ⑦各種表彰事業:
 - ○全日本学校歯科保健優良校表彰
 - ○図画・ポスターコンクール
 - ○標語コンクール

つづいて、会計調査臨時委員会報告が川本専務 理事よりありました。初めに委員会発足までの経 緯が述べられました。9月に未払い金が発覚、11 月より公認会計士による調査に入り、12月には使 途不明金に関わる領収証等の提出を前事務長に求 めたところ出奔。

これまで2回の委員会が開かれ、顧問弁護士か ら前年度役員との面談や前事務長と役員との間の メールのやり取りを調査したいとの申し入れがあっ た。6月16日、前事務長との面談での報告では、 24年1月~12月までの出張は42回、使途不明金に ついては明確な答えはなかったが、「大きな金額と してはアジア会議における飲食ではないか、私的な 飲食にも使ったこともある。今となっては、どれが 自分で支払う金額か、日学歯の支払う金額かの区別 はできない。全額を弁済して終わりにしたい。」と のことであったとの報告でした。

さらに、内部統制検討臨時委員会報告が川本専 務理事よりありました。26年6月11日第1回委員 会が開催され、内部規定改訂については、第85回 総会において定款と諸規則の整合性を図るための 最低限の改正を行う。職員給与規程、職員服務規 程の改正案について職員との協議を進めている。 多額の現金引き出しや扱いの機会を少なくするた め、役員報酬・旅費等を振り込みとすることを検 討するとの報告でした。

つづいて、名誉会長、顧問、参与選任規程制定 が理事会の議決をもって制定されたとの報告が川 本専務理事よりありました。

次に特例民法法人としての平成25年度事業報告 が川本専務理事よりありました。

その後、事前質問にはいり、15題の質問・要望 が寄せられました。

- (1) 学校歯科健康診断における歯科機材の感染 症対策について
- ・学校歯科医の活動指針P44並びにP95・96を参 照してください。

未入会対策について

- ・各県の加入率について調査しているか?→調 査はしていない。
- ・会長表彰基準が学校歯科医歴35年以上、日学歯 会員歴5年以上とあるが、これが未入会の原因 とは考えられないか?→関連性を追求していな いのでわからない。加入者が少ない加盟団体に は、いろいろと働きかけお願いをしている。
- (2) 認定こども園の園医と表彰基準について
 - ・認定こども園の形態はいろいろあるので、文 部科学省と厚生労働省管轄があり、大変流動

的で検討中である。

- (3) 学校保健安全法施行規則の一部改正等につ
 - ・4月30日に一部改正になったが、さらに次の 項目を整備していただきたい。
 - ①大学における「歯及び口腔の疾病及び異常 の有無」が除外されている。
 - ②職員の健康診断の項目に「歯及び口腔の疾 病及び異常の有無」が除外されている。
 - ③第23条(学校歯科医の職務執行の準則)の健 康診断のうち 「歯の検査に従事すること」 いう条文の「歯の検査」を「歯と口腔の検 査 に改めてほしい。
 - ④就学時健康診断票の改正を求めたい:処置 歯の判定は就学時健康診断の目的からする と不要である。
 - ⑤COの検出基準が主に視診による判定に変更 されたが、学校健康診断様式例及び注意書 きが変更されていない。
 - ・今回の文科省の「今後の健康診断の在り方検 討会 | では、就学時健康診断については検討 していないし、児童生徒の健康診断だけに関 わるものを検討し答申を出した。教職員の健 康診断については、歯科口腔保健条例並びに 労働安全衛生法の一を部改正する法律案に対 する付帯決議がなされていることを参考にし ながら、文科省に働きかけていく。
- (4) 学校歯科医活動指針改訂について
 - ・年度内に発刊予定。
- (5) 内部統制検討臨時委員会について
 - ・特別委員会ではなく臨時委員会とした経緯 は、特別委員会の設置は総会でお諮りしなけ ればならなく、早急な活動ができないため、 理事会了承の臨時委員会とした。会計調査臨 時委員会で明らかになった問題を今後起こさ ないためにどのようにしたらよいかを検討す る委員会とした。

(6) 食後の歯みがきについて

・5月17日の小児歯科学会のシンポジウムにおい て、日学歯として歯みがきのタイミングについ て質問し、児童生徒については従来どおり「食 べたらみがく」ということを推奨するという回 答を得た。また、日歯の地域保健委員会でも同 様の見解である。日本小児歯科学会、口腔衛生 学会、日本保存学会も同様の見解であるという ことをホームページ等で確認した。

(7) 専門研修について(目的と今後の展望)

- ・基礎研修を修了しステップアップをのぞむ者 の自己研鑚を目的として行っている。
- ・受講者には、アンケートによると好評である が、人数に制限があるなど問題点もある。
- ・もう少しこのままの体制で進めていくが、改 善を図っていく。

(8) 私立学校における歯科保健活動について

- ・広報誌などを通じて私立学校における歯科保 健活動について紹介してほしい。
- ・モデル事業の中間報告書が3月に出ているの で、これらの資料を何らかの方法で周知して いきたい。

(9)

- ①学校歯科医の活動指針の改訂予定について
- ②学校におけるフッ化物洗口についての日学歯 の考え方
- ・平成23年度には「学校におけるフッ化物応用ガ イドブック|をホームページに掲載している。
- ・洗口に使われるフッ化物の一括購入ができる ようにするなど取り組んできており、今後も 前向きに検討していきたい。
- ③総会日程の土・日開催について (要望)
- ・日歯会館は土・日は原則閉館で、土・日の開催 は警備員・職員の休日出勤の費用等がかさんで くるので、会計面からも開催はできない。

(10) 各種モデル事業予算について

・本年度モデル事業予算が減額されている。日

学歯にとってもプラスになる事業であるの で、予算復活を願う。

・前年度は過剰予算であり、今年度のものが適 正と考える。条件を提示し、手上げ方式で受 けていただいているのでこれでよいと思う。

(11) 会計事務への要望

- ・現在事務長不在の状態が続いているが、事務 局の運営はどのように運営されているか。ま た、今後の方針は?
- ・一般事務は川本専務が、会計に関しては長沼 常務が当たっている。事務長は適任者がいれ ば早く採用したいと考えている。

(12) 会計処理問題について

- ・事務局全体の問題なのか、特定の人の問題な のか?前執行部に事情を聞いているか?前執 行部の責任は?
- ・事務局全体の問題ではない。新執行部となっ てからの専務としての管理責任は重々感じて いるが、前任者については申し上げる立場で はない。

(13)

①専門研修について

- ・専門研修は個人の研鑽だけではなく、地域の 指導者の育成もあると思うが、全国半数以上 の県が受講できていなく、地域の偏りがあ る。今後の在り方は?
- ・本年度の開催場所はアクセスの良い東京・名古 屋とした。「保健管理」については学校歯科保 健研究大会(島根県松江市)とした。今後も開 催場所も含め、委員会で検討していきたい。
- ②日本学校保健会主催の研修会について
- ・平成26年度 文部科学省補助事業「思春期の 学校歯科保健推進」研修会
- ・8月6日(水):日本財団ビル2階大会議場 $10:40\sim16:30$
- ※詳細は日本学校保健会ホームページページを ご覧ください。

- (14) 広報「日学歯」とホームページについて (要望)
 - ・広報誌が最近は紙質のせいか、文字の裏写り 等があり読みづらいので改善を。
 - ・印刷精度を挙げて対処したい。紙質を上げる のは予算の関係で難しい。
 - ・基礎研修受講修了者一覧のホームページ掲載 方法を受講年度別ではなく、地区別に載せて 有効期限情報を併記してほしい。

休憩後、議事事項に入り下記の議案が上程さ れ、審議の上可決確定されました。

第1号議案 平成25年度貸借対照表及び損益計 算書(正味財産増減計算書)の承認

第2号議案 定款の一部改正

第3号議案 「規則|「規程|の表記統一

第4号議案 選挙規則一部改正

第5号議案 総会議事規則の制定

第6号議案 議事運営特別委員会設置及び規則 制定ならびに委員選任

第7号議案 入会及び退会に関する規則の一部 改正

第8号議案 予算決算特別委員会規則(旧規 約) の一部改正

第9号議案 会議及び委員会規則の一部改正

まず初めに、1号議案提出に関連し、予算決算 特別委員会報告が小嶋委員長よりあり、下記の3 項目を明記し平成25年度収支計算書を作成したこ とを了承した旨が報告されました。

- 1、今期までの過去の未払い(H20年度からの 分)をすべて精算した
- 2、過年度印刷製本費支出として項目を追加 (11,561,528円)
- 3、現金で引出して証憑なき金額を使途不明金 (20,511,828円) として処理した。

ついで、長沼会計常務理事より1号議案の上程 理由ならびに内容説明のあと飯島監事より監査報 告があり、審議の上挙手多数を持って可決されま した。次に2号議案~4号議案並びに6号議案に 関連するために先に第5号議案が上程され、専務 理事より説明の後、審議の上可決しました。

第2号議案 定款の一部改正:総会において決 議を受ける規則等を明確にした。

第3号議案 「規則」「規程」の表記統一:「規 **則** についてはその修正を行うときは総会決議を必 要とするもの。「規程」については理事会決議。

第4号議案 選挙規則の一部改正:監事につい ては第1種正会員から募集する。

第6号議案 議事運営特別委員会設置及び規則 制定並びに委員選任:委員は7ブロックより各1名 ずつ推薦された代表会員から総会において選任す る。ただし、来年の3月の総会をもっての選任では おそいので、今回は理事会で選任していただくこと が議長団より提案され、可決承認されました。

第7号議案 入会及び退会に関する規則の一部 改正:名誉会員は本人の意向を確認し、理事会の 承認を得ることで会員とする(入会申込書は必要な (1)

第8号議案 予算決算特別委員会規則の一部変 更:予算決算委員会の審査及び報告事項の内容を より適正にした。

第9号議案 会議及び委員会に関する規則の一 部改正:委員会の開催は過半数の出席をもって成 立する。

これらの改正は6月24日をもって行われ、新定 款は出来上がり次第会員に送付されることになっ ています。なお、会計関係の詳細な資料は広報誌 に掲載されると思いますので、そちらをご覧くだ さい。

最後に、第78回全国学校歯科保健研究大会(10 月23日・24日:島根県松江市)と第64回全国学校 保健研究大会(11月6日・7日:石川県金沢市) ならびに全国学校歯科医協議会(11月6日)の開 催案内が杉原常務よりあり、予定を30分オーバー し5時半に閉会となりました。

特別支援学校における窒息事故予防のための アンケート調査

土浦心身障害者歯科治療センター

高木 伸子、手塚 文栄、村居 幸夫、 征矢 亘、森永 和男

特別支援学校で、一昨年起きた給食中の窒息事 故をうけて、平成25年度に食べる機能に障害のあ る児童生徒などへの支援を充実させるため、県教 育委員会が主導で、県立特別支援校16校全校で 個別指導と研修会を複数回行い、教員と保護者を 対象に摂食機能の発達理解を促しました。もちろ ん茨城県歯科医師会はそれに協力し、水戸と土浦 のセンターから複数の歯科医師と歯科衛生士等が 支援学校に出向きました。研修会に先駆けて、知 的障害児の摂食機能の現状について今まで調査は 行われていなかったため、私たちは土浦センター で受け持った特別支援学校2校と協力して、①ど んな生徒が窒息事故を起こしかかったのか、②リ スクを軽減するためにどんなところに着目して給 食指導や個別指導を行うとよいのかを知る目的で 調査を行いました。なお、本アンケートは本人ま たは家族、学校に文書により説明し承諾を得まし た。

【方法】平成25年6月に、茨城県内の特別支援学 校2校で、知的障害児の担任教師に生徒について のアンケート記入を依頼しました。質問項目は、 年齢、性別、体格、障害名、言葉の有無、全般的 な理解力、口腔内状況、窒息の経験、給食の様 子、口腔の運動などで、該当項目を○で囲む形式 を基本としました。

【結果】小学部から高等部合計501名の回答があ り、そのうち499名を有効回答とし、検討を行いま した。

- 1. 学校の給食時に窒息事故を起こしかかっ た生徒は10名いました(以下このグループ を「ニアミス群」、そうでないグループを 「一般群」とする)。内訳は、小学部4名 (3%)、中学部4名(3%)、高等部2名 (1%) でした。
- 2. ニアミス群と一般群では、嚥下機能、咀嚼 機能不全と関係の深い項目に差が見られまし た。特に、「口の周りを舌でうまくなめまわ せるか | の項目で、「きれいになめられる | がニアミス群で10%、一般群では70%でした (図1)。

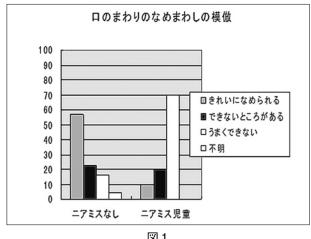


図 1

その他、「よだれがある」、「時々オエッ とする」「食べこぼしがある」、「いつも口 をあけている」、「上を向いて飲み込む」、 「かきこんで食べる」、「詰め込んで食べ る」、「顎を左右に動かせない」、などに差 がみられました(図2, 3)。

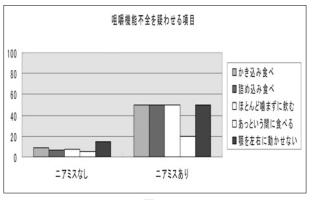


図2

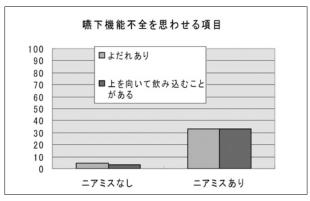


図3

3. 言葉のない生徒は、ニアミス群で40%、一 般群で14%でした(図4)。

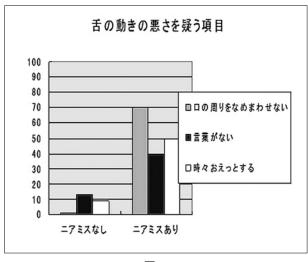


図 4

4. ニアミス群の10人のうち6人がダウン症児で した。また、ニアミス群のダウン症児のうち2 人に言語表出がありませんでした。一般群のダ ウン症児では言葉の出ていない生徒は10%で、 それに比べ割合が多くみられました(図5)。

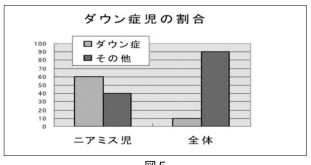
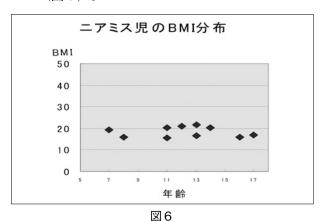


図5

5. 体格は、BMI(体重÷身長2)で比べる と、ニアミス群は全員20前後で普通からや せ気味の体格で肥満児はみられませんでした (図6)。



【まとめ】給食で窒息事故を起こしかかった生徒

(ニアミス群)は10名で小中学部の3%、高等 部の1%でした。ニアミス群で目立つ項目は「ダ ウン症」、「口の周りを舌でなめまわせない」、 「時々おえっとする」でした。共通するのは舌や 口輪筋や頬筋などの動きの悪さで、これらの動き をよくすることは、窒息事故予防に繋がると思わ れます。また、調査によって教員が摂食行動をよ く観察するようになり、個別教育目標に摂食項目 が入るなど、教員の関心を高めることにも寄与し たと思われます。生徒のQOL向上に資する研究を 今後も続けたいと考えています。

茨城県身体障害者小児歯科治療センターにおいて 日帰り全身麻酔下歯科診療始まる

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

関口 浩、森永桂輔、野村美奈、鈴木哉絵 鬼澤璃沙、山下千春、金子雅子、高橋裕子 村居幸夫、征矢 亘、森永和男

茨城県立中央病院

庄司紀子、髙橋千恵子、角田直枝

平成26年6月30日(月)に茨城県身体障害者小児歯科治療センター(水戸口腔センター)において、センター開設以来初めての日帰り全身麻酔下歯科診療が実施されました。当初は4月1日に開始予定で準備していたのですが、麻酔器を含む関連機器の設置準備ならびに機器の取り扱い、スタッフ研修、使用薬剤の購入手続き、看護師の手配などに時間を要し、開始が遅れてしまいました。看護師については、茨城県立中央病院に派遣を依頼し、経験豊かな手術室担当看護師2名が交代で参加していただくことになりました。センターのスタッフと連携して、患者管理およびトラブル発生時に対応してもらうことになりました。

今回、日帰り全身麻酔下歯科診療について、患者の来院受付、問診・検査、処置までの一連の流れについて概要をご紹介させていただきます。

- 1. 受診までの流れ
 - 1) お電話もしくは直接当センター受付で予約をお取り下さい。

午後1時~5時

·予約受付時間: 月曜~金曜/午前9時~12時

- · 予約電話番号: 029 (254) 4177
- 2) 予約の際に、名前、年齢、住所、電話番号、付き添いの有無、障害の程度などをお伺いします。
- 3) 受診の日には、予約時間の15分前までに、 次のものを持参してセンター受付にお越し下 さい。
 - ·健康保険被保険者証
 - ·福祉医療受給資格者証
 - ·療育手帳
 - ・障害者手帳
 - ・現在服用中の薬品名が判るお薬手帳、薬剤 情報提供書
 - ・歯ブラシ
 - ・タオル
- 4) 初めての方はできるだけ紹介状(診療情報 提供書)をお持ちください。
- 5) 受付で問診票に必要事項を記入し、提出してお待ち下さい。
- 6) 診療対象となる患者さんは、障害のある方 または健常な小児で、
 - ①歯科治療の内容、歯科治療に要する回数

- ②通院に係わる条件
- ③歯科治療が全身状態に及ぼす影響の有無
- ④患児・者の身体的条件
- ⑤歯科治療時の協力度

以上の要因を総合的に判断し、全身麻酔か静脈 内鎮静のどちらで加療するかを担当歯科医が決定 します。

2. 治療の流れ

- 1) 1回目の来院:問診・検査データの依頼
- ①担当歯科医が問診、口腔内診査を行い、歯科 麻酔医に全身麻酔を依頼します。
- ②全身麻酔施術には原則1か月以内の血液検 査・心電図・胸部エックス線写真の検査デー タが必要となります。検査データをお持ちで ない方でご希望の方には検査医療機関をご紹 介します。
- 2) 2回目の来院:歯科麻酔医による診察・問 診
- ③検査結果および問診票に基づき、歯科麻酔医 が全身麻酔適用の可否について判断致しま す。適用否の場合は他の医療機関(歯科大学 病院など)を紹介いたします。
- ④保護者と患者さんに全身麻酔についての説明 を行い、同意が得られた後、施術日(月曜も しくは火曜の午前中)を決定します。
- ⑤麻酔導入時の嘔吐を予防するため、食事は施 術前日の夜9時まで、飲水は当日午前0時ま でとし、それ以降は禁飲食になります。
- ⑥施術1週間前にスタッフ全員でカンファレン スを実施します。
 - ・担当歯科医は治療計画書を作成し、処置の 内容・順序、処置に要する時間などについ てスタッフに説明。
 - ・麻酔医は準備器材・諸注意を伝達。
- 3) 3回目の来院:施術当日
- ⑦午前中に処置を行います。患者は午前8時30 分に来院し、体調、食事などの確認および体

温測定を行います。熱発や風邪の諸症状が強 い時は施術が延期となることもあります。午 前9時から麻酔導入し、治療を開始します。

⑧ライン (静脈路) の確保 (写真1)



写真1

- ⑨モニタ(血圧、心電図、パルスオキシメー ター) の装着
- ⑩鎮静剤、筋弛緩剤、鎮痛剤を投与し、麻酔導 入開始(写真2)



写真2

- ⑪マスク換気
- 迎経鼻挿管

気管チューブを鼻腔に通し、喉頭鏡で声門を 確認しながら挿入(写真3)



写真3

⑬CO2の排出の有無・5点聴診・胸郭の動きを

確認し、挿管操作終了。その後、吸入麻酔薬 と麻薬性鎮痛剤の持続投与により麻酔を維持 (写真4)



④看護師による膀胱留置バルーンカテーテルの 挿入(写真5)



写真5

⑤看護師による直腸温計の挿入(写真6)



写真6

⑯歯科治療中、麻酔医は術中、呼吸・循環の管 理を行う(酸素化・換気チェック、心電図モ ニタリング・血圧測定、体液・体温管理な ど) (写真7)



写真7

⑰歯科衛生士によるスケーリングと歯面清掃 (写真8)



写真8

18麻酔覚醒・抜管

歯科治療終了後、麻酔薬投与も中止し覚醒さ せる。自発呼吸・手足の動きなどにより十分 な覚醒を確認して抜管。マスクにて酸素投与 を継続し、呼吸・循環動態が安定したら回復 室へ移動(写真9)



写真9

⑩回復室では、看護師が酸素投与下にてバイタ ルチェックを行い、術後の合併症や急変に注 意し観察を行う(写真10)



写真10

20帰宅確認

呼吸・血圧が安定して、吐き気がなく歩行・ 飲水・排尿が可能であることを確認して午後 に帰宅できます。帰宅後に嘔吐・発熱などの 体調不良を訴えた場合は麻酔医に連絡するよ う事前に説明をしてあります。また、翌日に はセンターから保護者に連絡し、食事・水分 の摂取状況および体調確認などを行います。

日帰り全身麻酔下歯科診療が本格始動したこと で、これまで従来の方法では対応がむずかしく、 治療困難とされてきた障害児・者患者が水戸口腔 センターで安全に質の高い歯科治療を受けること ができるようになったことは、日帰り全身麻酔の センター導入を推進してきた一人として悦ばしい 限りです。これからも、会員を含め多くの方々に センターを活用していただければ幸いです。

全身麻酔のセンター導入に際して、ご理解とご 協力をいただいた茨城県歯科医師会森永和男会長 ならびに茨城県立中央病院関係者に深謝する次第 です。

茨城県身体障害者小児歯科治療センター企画の 障害児・者歯科講演会報告

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

関口 浩、鬼澤璃沙、山下千春 村居幸夫、征矢 亘、森永和男

平成26年6月8日(日)に茨城県歯科医師会館 講堂におきまして、水戸口腔センター企画・茨城 県歯科医師会主催の「障害児・者歯科講演会」が 開催されました。今回は「発達障害の理解と言語 治療 | と題して棟方直子先生(宮本病院リハビリ テーション科・稲敷市) (写真1) にご講演いた だきました。



写真1 棟方直子 先生

棟方直子先生のご略歴は次のとおりです。

昭和55年 東北女子大学卒業

昭和55年 弘前大清水学園勤務

昭和62年 日本聴能言語学院卒業(旧)

昭和62年 宮本病院リハビリテーション科

勤務 (茨城県稲敷市)

昭和62年 千葉県立リハビリテーション研修

(平成2年まで)

平成 2年 東京歯科大学千葉病院

口腔外科非常勤

講演内容の要旨は、言語聴覚士(以下ST)は、 医療、福祉、学校、老健・特養、研究・教育機関 などで言葉や聴こえ、食物を口から食べることに 障害を持つ方々の機能回復や発達促進の援助を 行っています。2013年度までに約2万2千人のST が養成されています。就業してから一貫して発達 障害児の療育と言語治療に携わってきました。子 供の発達障害の理解およびSTとして特に自閉症の 言語治療について臨床事例を挙げてご紹介してい ただきました。

アンケート集計結果

受講された方々には所定のアンケート用紙に無記名で記載をお願いし、会終了後に回収しました。アンケートを集計し、その結果をまとめたので報告します。

1) 受講者数とアンケート回収率 受講者数は74名であり、アンケート提出者数 は48名で回収率は64.9%でした。

2) 性別・年齢

性別は女性が75.6%、男性が24.4%でした。年齢は30代が29.2%と最も多く、次いで20代、40代、50代がともに20.8%であり、60代が8.4%の順でした。

3) 職種

受講者の職種の一覧を表1に示します。 歯科衛生士と歯科医師を合わせると19名 (41.3%) であり、全体の約4割を占めていました。その他に、障害者(児)に携わる様々な職種の方が出席していました。

表1 受講者の職種

職種	名 (%)
歯科衛生士	10 (21.7)
歯科医師	9 (19.6)
言語聴覚士	6 (13.0)
保護者	5 (10.9)
施設職員	5 (10.9)
保育士	4 (8.7)
教論	3 (6.5)
看護師	2 (4.3)
介護福祉士	1 (2.2)
講師	1 (2.2)
計	46 (100)

4) 受講者による評価

講演内容に対する受講者の評価を表2に示します。

「非常に良かった」と「良かった」を合わせると45名(97.8%)でした。

表2 受講者による評価

評価	名 (%)
非常に良かった	18 (39.1)
良かった	27 (58.7)
あまり良くなかった	0
良くなかった	1 (2.2)
計	46 (100.0)

5) 受講者の感想・意見

講演内容に関する受講者の感想・意見は以下 のとおりでした。

・一般歯科医院には、なかなか障害のある患者 さんを診察する事はないですが、早めの言語 治療を行い、スキルを身につける事が大切な んだと思いました。今後、一般歯科医院に障 害のあるお子様が来院された場合にアドバイ スとして言えるかなと思いました。

- ・事例について詳細なお話が聞けて有意義でし た。
- ・実践例をお話し下さってとても参考になりま した。コミュニケーションを「ことば」に限 定せずにその子の生活を中心に周りの人との 関わりの中で気持ちを伝えたり、行動を広げ ることの大切さを改めて思いました。
- ・とても貴重なお話ありがとうございました。 今後の子供との生活に生かしていきたいと思 います。
- ・自閉症児の言語訓練の症例を上げて頂きまし たが、2例位上げて頂けると学びやすいのか と思いました。個人差があるでしょうからど の位の個人差があるか学べればと思いまし た。
- ・日々のスキルトレーニングが言葉の治療上に つながるというのが印象的だった。スライド などを使用して、実際にどんな物を使って 行っているのか、紹介して欲しかった。
- ・早期療育の必要性、良い事例がお伺い出来、 大変為になりました。支援学校に入学したら それで安心で、全て療育面がカバーされる様 に主治医から言われましたが、そうではない なと思いました。
- ・実際に訓練に使った物があれば見たかったで す。資料と一緒にスライドなどで写し出して いただけるとさらに良かったと思いました。
- ・先生のお話を聞いて、うちの子達も、お話が できるようになるかもと希望がもてました。 これからも、あきらめる事なく、言語治療 などもふまえながら、やっていきたいと思い
- ・言語治療の大切さが分かって良かったです。 アドバイスを頂き、今後のステップにつなが りました。

ます。

・棟方先生のお話を聞いて、我が子の療育にも

- 希望が持てました。今後も言語に対する療育 やあらゆる可能性を伸ばせる療育に対する情 報収集をして行きたいと思いました。
- ・あたえる課題に対して、なぜそのような成果 が得られるのかということについて、知見は あるのでしょうか。講演ではよく解らなかっ たが知りたいと思う。
- ・学習障害の説明は読む、書く、計算する能力 に~という説明で、誤解を招く言い方であっ たと思いました。症例のお子さんに対する自 辺自立のアプローチもお聞きしたかったで す。文字(ひらがな、カタカナ)は、読みと 書き、同時進行のメリットもお聞きしたかっ たです。
- ・具体的なお話が伺えてとても感謝したしま す。
- ・他職種の先生の話に興味があり、参加しまし た。発達障害の分類はとても難しく、まだま だ理解は出来ていませんが、発達障害の子ど もたちも来院していますので、少しでも寄り 添えるように勉強していきたいと思っていま す。スライドはありませんでしたが、現場の 様子も(症例報告で)とても分かりやすかっ たです。又、実際に障害をお持ちのお子さん がいらっしゃるお母さんの生の質問と先生の 答えも(研修会ではあまり無いパターンでし たので)とても勉強になりました。
- ・先生がおっしゃっていた、日々の生活の中で のコミュニケーションについては、今は健常 者の子供にも不足してきていることだと思い ました。発達障害のお子さんを持つお母さん の不安や心配を少しでも軽くしてあげられる 言葉かけをしてあげられる専門機関がもっと 増えることを、一医療人として望みます。
- ・将来役立つ為のスキルを身につける練習とい うのは、何にでも通じる物があると思いまし た。毎日の積みかさねがとても大切なのだと

思いました。

- ・施設勤務の保育士です。研修では、自閉症、 アスペルガーなどが多いのですが、言語につ いての研修会は少ないので、今回参加して よかったです。棟方先生の講義もわかりやす く、もっとお話しが聞きたかったです。あり がとうございました。
- 知り合いのSTが小児を担当していると聞い たことがありましたが、情報がまとまってい ないのだと思いました。小児を扱っているS Tのいる病院、その中でも自閉症に対応でき るSTが分かれば、障害児の保護者が利用し やすいと思った。
- ・症例について細かな経過を交えてのお話で、 大変勉強になりました。ビデオ等で訓練の様 子も見たかったです。
- ・基礎的な話から始まり、分かりやすかったで す。もう少し、対応の方法を知りたいと思い ました。
- ・実際指導に使っている人形、はめ板、認知 ワークなどの写真や指導の様子のビデオなど があるともっと分かりやすい講演会になった と思います。
- ・私は言語聴覚士になって1年目であり、臨床 の場ではまだ小児の患者様をみた事がありま せん。しかし、将来的には自閉症の子や口蓋 裂の子の治療にたずさわると思われます。今 後は、その時のためにしっかり知識を身に付 け、本日の講演会で学んだ事を活用と出来た らと考えています。
- ・事例の提示があったので分かり易かったで す。私も含め経験の浅いピラミッドが多いな かで長期的な経過を知る事ができたのが収穫 でした。ありがとうございました。
- ・日々の生活をやること"身近な日常生活"、 基本的なことを習得していく中で、言葉を覚 える事、大切さが印象的でした。

- ・STの必要性、またST情報の共有が必要で すね。
- ・普段なかなか聞けない言語療法の実際の様子 が事例をふまえて聞くことができて参考にな りました。事例の話を聞いて、現在見ている 子供の実態であっても十分に言語が伸びる可 能性があると痛感しました。
- ・事例に沿っての話でよかった。使用したもの などの具体物を見てみたかった。
- ・改めて水戸地区小児領域施設の少なさを感じ ています。まだまだ小児専門としていくのは 難しいですが、スキルを磨いていけるように していきたいと思います。
- ・とてもわかりやすく勉強になりました。特に 最後の質疑応答は、現実の問題点がはっきり わかり、考えさせられました。
- ・言葉の治療とは、言語療法のみにとどまら ず、患者様のスキルをトレーニングするこ とであるとおっしゃったことを心に残る言葉 として受け止め、今後につなげていきたいで す。
- ・症例を示してくださって、より理解が深まり ました。
- ・症例があり勉強になりました。
- 6) 今後の講演課題・要望について
 - ・在宅口腔ケアのやり方、歯周治療(SRPな ど)の研修会。
 - ・開催日時は日曜日。企画は、実際に子供に言 語治療などをやってくださるとありがたいで す。
 - ・今回の講演でも、母親の献身的な努力につい て触れていたが、障害児・者の家族など周辺 環境に関係する研修 (介入の有無にかかわ らず)を企画していただきたい。
 - ・開催が日曜日で参加しやすかったです。
 - ・茨城の言語治療(小児)の現状について、会 の方で調べていただいて、返答と言う形でも

後日お知らせ頂けるとより嬉しいと思いまし た(最後の方で高木先生からも現状に関して お話が聞けました)。 茨城県は、子どもを診 る施設、病院がとても少ない所だと聞いた事 があります。今日いらして下さったお母さん 方のお子さんが、自立した生活に近づける様 な地域になれるよう(いろいろな所でサポー ト出来るよう)、進んで行けたらと思いま す。参加してよかったです。ありがとうござ いました。

- ・多職種連携は、専門分野は専門に任せられる 関係がカギで、同職種連携が大前提です(歯 科では?と強く思います)。多職種で会議上 でやっていても見えないのは残念です。テー マを定めてそれに関係している職種でシンポ ジウムのような横でのつながりを具体的に示 すなどが必要ではないかと思います。
- ・我々言語聴覚士は摂食嚥下領域に関わる医療 従事者ですが、地域や在宅における摂食嚥下 リハビリテーションにおいて、歯科の先生方 との連携は不可欠と考えています。現在は在 宅(訪問リハビリテーション)に出向くセラ ピストは少なく環境は整っていない状況と思 いますが、今後を見すえた研修会や交流会等 があれば良いと思います。
- ・再度、自閉症スペクトラムに関してのセミ ナーを行っていただけたらと思っておりま す。

- ・無料で有意義な内容を聞けて大変良い研修会 であったと感じます。土日、今回のように2時 間程度で開催して頂きたいです。内容として は具体的なケース、実際の治療のVTRを見 る、使用している教材を見させていただくよ うな形の研修会を希望します。また、自分自 身も学校に勤務しており、言語療法を受けて いる児童が少ないと感じています。教育の現 場とともに連携し、よりよい発達を促せるよ うに尽力していきたいです。
- ・障害児・者の口腔ケア手順について

今回の講習会が受講者にとって医療、介護支援 の現場における種々な問題・疑問の解決に役立つ 内容でありましたら幸いです。今後も受講者の 方々の要望を考慮して実りある講演会を企画して いきたいと考えています。



講演風景



【歯科衛生士科親睦会】

5月2日(金)内原ヘルスパークにて、歯科衛 生士科全学年参加の親睦会が開催されました。

今回の親睦会開催にあたっては、特に2年生 が、大会前の企画・準備・当日の進行・運営など を担当してくれました。

大会競技として、タイフーン、学年対抗リ レー、大縄跳びの3種目が選ばれ、各学年気合を 入れて競技に臨みました。

始めに、3人1組になってのタイフーン。3人 が息を合わせてポールの周りを走りバトンタッ チ、早速大きな声援が飛び交います。

次に学年対抗のリレー。走ることが得意な人も 苦手な人も、それぞれが一生懸命走り抜いたり抜 かされたりする度に応援の声が一層大きくなりま した。



最後の大縄跳びでは、縄をまわす人も飛ぶ人も 気を抜けない緊張感がありました。かなりのス ピードでまわる縄をリズミカルに飛んでいきま す。5分間に飛んだ回数の合計数で勝敗が決まる競 技、時間との戦いにみな夢中で飛び続けました。



競技の結果は、総合優勝は2年生、2位が同点 で3年生と1年生でした。

全学年及び専任教員も参加しての競技はそれぞ れ盛り上がり、参加者全員が共に楽しんだ1日で した。普段の学校生活の中で見る姿とはまた違っ た学生のいろいろな一面を見ることができまし た。そして、クラス・学年相互の親睦が一層深め られたのでないかと思います。

(文責 根目沢)

【第1回オープンキャンパス】

5月23日(金)午後3時から茨城歯科専門学校 の第1回オープンキャンパスが開催されました。

歯科技工士科では、男子3名、女子3名の計6 名の参加でした。

始めに、歯科技工士の仕事内容や学校のカリ キュラム、試験等についての説明があり、その 後、校内施設の案内に続いて、1・2年生の実習 の様子を実際に見学してもらいました。

歯科衛生士科では、那珂高校7名・佐竹高校5

名の参加をはじめ、高校生26名の参加がありまし た。

マネキン室や実習室の校内案内から始まり、水 戸口腔センターでの診療の様子を見学してもら い、その後8020・6424推進センターの藤田さんか ら歯科衛生士の仕事や活動内容を詳しく説明して もらいました。

1時間という短い時間でしたが、両科とも普段 の講義や実習風景などの見学が出来て、歯科技工 士、歯科衛生士という仕事への理解がより具体的 になり、今後の進路選択の大きな情報のひとつと なったことと思います。

(文責 根目沢)

【戴帽式】

6月11日(水)、茨城県歯科医師会館3階の講 堂で、歯科衛生士科2年生(第45期生)47名の戴 帽式が行われました。

この日は、ご父兄、ご来賓、講師の方々が多数 ご出席くださり、また、本校の在学生も参列し、 大勢の方に見守られながらの戴帽式となりまし た。

戴帽生の入場後、式が始まると式場内はナイチ ンゲール像の蝋燭の明かりだけになり厳かな雰囲 気に包まれました。



小鹿典雄学校長から戴帽生全員にナースキャッ プが渡され、戴帽生代表の菊池可奈子さんからの 誓いの詞とともに、臨床の場に臨むにあたり全員 で5つの誓いを唱和しました。

その後、県歯科医師会の森永和男会長と県歯科 衛生士会の芹澤鏡子会長からご祝辞を賜り、学生 もこれからの臨床実習に向けて、気持ちが引き締 まる思いだったと思います。



秋から始まる臨床実習では、学校でこれまで学 んだ基礎学習を基に、臨床の現場でより多くの事 を学び吸収する学習になると思います。一人ひと りが感謝の気持ちと初心を忘れず、自覚と責任を 持って臨床実習に臨んで欲しいと心から願ってい ます。

(文責 寺門)

【歯科衛生士科・ 歯科技工士科研修旅行】

- 第32回日本顎咬合学会学術大会に参加して-

6月15日(日)から17日(火)の期間、歯科衛 生士科、歯科技工士科の研修旅行が実施されまし た。1日目は両科とも「東京国際フォーラム」で 開催された日本顎咬合学会第32回学術大会に参加 しました(歯科衛生士科3年生50名、引率4名、 歯科技工士科2年生15名、引率3名)。

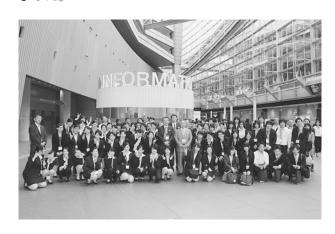
学会は「新・顎咬合学― 一口腔単位から一全身 単位へ 一|をメインテーマに14日(土)の特別講 演から始まり記念講演、一般講演、テーブルクリ ニック等、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士か ら多数の講演、発表がありました。

本校からは歯科衛生士科3年生の七戸晴佳さ

んが「学生の考える歯科衛生士像」についてポス ター発表しました。

学生は各自が事前に調べた興味ある内容をそれ ぞれの会場で受講しました。学生にとっては、専 門的で難しい内容であったと思いますが、最先端 の技術と第一線で活躍されている方々の講演を聴 くことができ、刺激になったことと思います。

大会終了後に、田中晃伸教頭先生のお計らい で、渡辺隆史大会長を囲んで全員で記念撮影をし ました。



2日目の歯科技工士科は東京ディズニーランド での一日を満喫し、2日間の研修旅行を終えまし た。



歯科衛生士科は2日目に大阪のUFJ、3日目 は神戸異人館の散策を楽しんだ3日間の研修旅行 でした。



それぞれ学生生活での思い出に残る旅行であっ たと思います。

(文責 山田)

アイ・テー・エスは…

動

胟

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。 (アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社

代表取締役 男 永 和

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

第15回土浦市民公開講座



北澤 弘毅 土浦市歯科医師会公開講座実行委員会

去る6月22日(日)、朝方の豪雨にも関わらず参 加者315名と満員の盛況の中、(社) 土浦市歯科医 師会主催市民公開講座が開催されました。

今回は「歌って体と心を整えよう一声楽療法と は?-|と題し、声楽家でオーケストラ指揮者の 佐藤宏之氏をお招きし、グランドピアノを設置し て聴衆参加型の楽しい講演会となりました。

序曲、ご存知「冬ソナ」の調べに載せて講師が 登場し、まずは「レモンと海」の素晴らしいバリ トン独唱の幕開きで会場の雰囲気は一気に音楽の 世界へと誘われます。

つづいて「この道」"この道は いつかきた道あ あ そうだよ…"

(嗚呼イイですねぇ、心に染み入ります)



「波浮の港|「椰子の実」と日本歌曲の後、イタ リアからは「オー・ソレ・ミオ」(おぉ、心に太陽 が降りそそぐようだぁ)

曲の合間に蘊蓄やジョーク、駄洒落も多く、脱 線もしばしば。

(これじゃ、手話通訳の方も大変だなぁ)

次はナポリ語による「帰れ、ソレントへ」(へぇ ~、ナポリ語とイタリア語は違うんですね)

次はみんなで歌おうのコーナー。会場全員で佐 藤式ベルカント発声法の体験です。講師の招きで、 ギターと歌は任せとけの大木勝生厚生委員長がモ デルとして舞台に上がります。

首回しの準備運動を入念にした後、手を当てて 腹斜筋の動きを実感しながら、「Na」の言葉だけ でドレミファミレドの発声。どんどん音階を上げ ていく。横隔膜を意識させる激しい筋肉運動(こ れはまさしく筋トレだぁ、キツイ)。

さぁ皆さん「夏の思い出」を歌ってみましょう。 "夏が来れば思い出す はるかな尾瀬 とおい空…"

即席のレッスンながら発声が良くなった300余名 の大合唱は講師の独唱に優るとも劣らずの大感動 です(鳥肌立ったよなぁ)。

締めは全員で「月の砂漠」の大合唱。

余興で「歯医者の唄」も。満場手拍子の中、"ハ ッ、どうした!ハッ、どうした!"





(歯どうした?か、唄というより間の手ですね。 でも歯科医師会への御気遣いありがとうございま す)。

最後に声楽療法の治療法と成果についての発表。 「ひきこもり」「うつ病」の増加、高齢化など、 精神的な問題を抱える人達の支援や治療が社会問 題となっている昨今、「歌がうまくなる」ことしか 目指していないのに、精神状態が劇的に改善して いくことの不思議を目の当たりにした講師は、斎 藤環筑波大教授との共同研究により学会発表。タ イムリーな内容はNHKやマスコミにもセンセーシ ョナルに取り上げられた。

声楽レッスンにおいて、僧帽筋や腹斜筋、横隔 膜を意識した内筋の強化により乳酸値が高まり、 それが脳を刺激して成長ホルモンの分泌が促され る。その結果、薬物療法のみと比較し声楽療法は、 うつ病の完治率を大幅に向上させる成果をもたら した。

印象として、筋肉訓練はその継続に困難を伴う のが一般的であるが、歌うということで楽しみな がら自然と肉体が鍛えられ、しかも大きな声を出 したり、歌がうまくなる喜びや充実感が、精神的 にも積極かつ能動的な思考や行動に結びついてい くのであろう。

詰まる所、心ゆくまで人生を謳歌することこそ が、あらゆる治療法に優るということではなかろ うか。

それは講師自らが体現していることに他ならな

佐藤先生のさらなるご活躍をご祈念申し上げる。

講師:佐藤宏之

(声楽家、オーケストラ指揮者、二期会会員) 武蔵野音楽大学卒業 パルマ音楽院声楽科に現地合格 イタリアの住民票取得 プラハにて指揮者デビュー 当たり役に「魔笛」のパパゲーノ

ピアニスト:水村香代子

土浦市民会館小ホールに於いて

歯アン

2014年6月28日(土) 茨城新聞



「MAKI&TERU」の演奏 に聞き入る聴衆=水戸市南町

た。 理由に、閉店が決まっ ビルの建て替えなどを一るのは誇りだった」と た。だが、同店が入る シーンを盛り上げてき 歯科医、牧厚志さん く出演、本県のジャズ (66)とひたちなか市の (船)のギターデュオ 函科医、平田輝行さん この日は、水戸市の 年代のポップスを中心 |に30曲ほどを披露し ながら、1960~70 |語った。2人はゲスト |晴らしい店が水戸にあ ミュージシャンも交え 牧さんは「こんな素



ミュージシャンが数多 までに国内外のジャズ 月にオープンし、これ 同店は2009年9 | 「MAKI&TER |年4月から同店で毎月 | U」が出演。2人は昨 |聴衆を魅了してきた。 |演奏しており、多くの

> として、「8020・64 と口腔の健康づくりの拠点

茨城県歯では、

たくない。たっぷり演奏したい」と力を込めた。

運のギターデュオなどのミュージシャンによるコンサートが開かれた。 店内を埋め尽く した約50人を前に、 出演者は閉店を惜しみつつ 「B2の最後のライブは寂しく終わらせ

6月末で閉店する水戸市南町2丁目のジャズレストラン・バー「B2」で26日、常

八気ギターデュオら

2014年7月1日(火) 日歯広報 24運動を推進し、年間を 齢者よい歯のコンクール」 のコンクール」募集▽「高 では、▽「親と子のよい歯 募集▽「茨城県歯科保健賞」 24情報センター」を設置 活動に力を入れている。 通じて県民講座、出張講話、 しており、8020・64 発活動を展開するなど広報 イベントブース出展等の啓 歯と口の健康週間の活動

と触れ合い、大人気であっ

し、健康教室では子ども達

た。かすみがうら市で行わ

展開につなげていきたい。

募集▽市民公開講座におけ 実施する歯と口の健康教室 る歯科講話▽小・中学校で への講師派遣▽事業所出前 行った。 民公開講座▽小・中学校 徒表彰式▽歯科講演会▽市 各郡市区歯が中心となっ その他、週間行事として、 ▽□腔衛生優良児童生

改善推進員との記念撮影を

を作っていただいた食生活 室」では、歯に良いおやつ れた「歯っぴースマイル教

食生活改善推進員の皆さんと記念撮影

8020・6424を推進 指導教材貸し出し一などを

茨城

、県民の歯 持ったご当地よ坊さんの着 424の印籠と歯ブラシを 6424推進期間(11/8 で定められた「8020・ 行っている。なお、よい歯の ぐるみが県内各地を巡業 の特集記事で受賞作品を紹 るとともに、「いい歯の日」 民歯科保健大会」で表彰す ぐるみの歯の健康づくりの ~11/21)」に開催する「県 コンクール受賞者を県条例 大切さをPRしている。 介し、定期歯科健診や家族 また、水戸黄門の姿で6

年間を通じた効果的な事業 りの普及・啓発の機会とし 併せて、歯と口の健康づく 0・6424推進期間」と の日を中心とした「802 歯では禁煙宣言をして喫煙 施された。さらに、茨城県 様々なイベントや指導が実 への歯科保健指導―など、 週間」については、いい歯 て県民の意識向上を図り、 今後も、「歯と口の健康

行っている。 児童・生徒への禁煙教育を 小・中・高校に出向いて、 員が積極的に県内各地の 対策に取り組んでおり、 学校歯科医や養護教諭への 健康教室(従業員を対象と 護施設での□腔ケア指導▽ した歯科講話)の実施▽介 会

茨菌会報



例年、この時期になるとウルトラマンフェステ ィバル、略してウルフェスの便りが届く。今年も 7月25日から8月31日まで、池袋サンシャインシ ティにて開催される。お盆休みに一家で行く予定 である。真夏の東京の暑さはかなり厳しく、年を 経るごとに身体にこたえてきている。

いつも大混雑であるが、周りを見渡せば、おお むね子供を連れて一家総出の家族たちで賑わって いる。やはり子供とともに燃えているのはお父さ んであり、お母さんはたしなめている場面が多く 見られるようだ。だいたいどこも同じ状況である。 展示、イベント、ゲームコーナー等を廻って、最 後の関門がグッズ売り場である。ここを抜けない と会場から出られない。さっと行きたいが、そう は問屋がおろしてくれない。「ウルフェス限定グッ ズ」、この甘美な響きに子供たちばかりではなく、 大人も酔ってしまうのだ。もちろん血が騒ぐのは お父さんたち。かくしてウルフェス限定グッズを 買い求めてのお父さんたちの闘いは今年も続 <....

(くすくすくす)

昨年のお話ですが、以前から屋久島の縄文杉に 行ってみたいと思っていました。ちょうど友人と 夏休みが合い、行く事になり行ってはみたかった ものの、往復23キロ歩けるかと言う事が気になっ ていました。東京マラソンに毎年出るような友人 に迷惑はかけられないと思い、加圧トレーニング を始めました。圧をかけて正直地味な動きをする のですが、これがすごくつらいです。最初は加圧 トレーニングした後、すごく筋肉痛でした。週1 回で通い、段々慣れてきました。慣れてきた頃に 階段から落ちて、脚を捻挫しましたが無事に縄文 杉に行ってくる事ができました。

縄文杉に行った次の日は手すりがないと階段を 降りる事は出来ませんでしたが。

今も加圧トレーニングは時間がある時にやって います。加圧トレーニングをやると、ゴルフも上 達するらしいと聞きました。ゴルフのほうは全く ですが、どちらも頑張りたいと思います。

(maru)

サッカーワールドカップが終わり、梅雨も明け、 いよいよ夏本番。連日の猛暑にぐったりする毎日 だが、追い打ちをかけるようなことが起きてしま った。エアコンが点かない。全部ではないが、多 くのエアコンが使えない。朝は動いていたのに、 気づけば消えていた。待合室がとにかく暑い。サ ーキュレーターで使えるエアコンの風を送ってみ るが、あまり効果はない。窓を開けても当然暑い。 扇風機も気持ち悪い。早速、業者に来てもらった。 室外機に不具合があるらしい。部品の取り寄せが 必要で、今日は直せないとのこと。困った。

翌日も暑い一日。うちの待合室は東側にあり、 朝から室温は上昇。そういえば昨日は朝のうちエ アコンは使えていた。短時間なら使えるのではな いか?待合室の混み具合と室温を考え、ここ一番 でスイッチを入れてみた。使えた。見る見るうち

に室温は下がったが、15分でエアコンは止まって しまい、その後は使えない。しばらくして業者か ら電話があり、明日部品が入り、あさって修理に 伺いますとのこと。あさって・・・?

さらに翌日。今日も朝から暑い。ここ一番のス イッチをいつ入れようか考えていたところ、業者 から連絡が入った。「部品が入りました。明日伺う 予定でしたがどうしましょう? | どうしましょう

じゃない。すぐに来てもらい、直してもらった。 修理の若いお兄さんがなんと頼もしく見えたこと か。

普段、当たり前のように使っているエアコンに 感謝をし、また、歯の痛みに困っている人には、 少しでも早く診るように心がけようと思った一件 でした。

(仁)



医・歯学部現役合格は「全寮制」の秀明から

知力が先伸びする秀明教育





優れた人間形成のための全寮制

- ■月曜登校金曜帰宅の4泊5日制
- ■冷暖房はじめ最新の施設完備(男女別棟)
- ■24時間安全安心の警備体制

学力をつける独自の学習システム

- ■ムリなく理解できる到達度別学習
- ■ムラをなくす秀明検定テスト
- ■毎日3時間の実りある夜間学習

最高の条件で英語を習得できます

- ■資格と経験のあるイギリス人スタッフ(専任9名)
- ■イギリス英語研修(中学で2週間、高校で4週間)
- ■全生徒が英検にチャレンジ

医学部			歯学部				
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	192
北海道大学	2	自治医科大学	2	東北大学	1	昭和大学	61
東北大学	5	産業医科大学	2	九州大学	2	愛知学院大学	15
名古屋大学	2	日本医科大学	37	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	18
大阪大学	1	東京慈恵会医科大学	21	新潟大学	3	北海道医療大学	42
九州大学	1	順天堂大学	53	岡山大学	1	岩手医科大学	34
東京医科歯科大学	1	昭和大学	61	広島大学	2	奥羽大学	102
千葉大学	6	日本大学	72	徳島大学	1	明海大学	151
筑波大学	2	東京医科大学	53	長崎大学	2	神奈川歯科大学	78
群馬大学	5	東邦大学	82	鹿児島大学	2	鶴見大学	86
新潟大学	6	東京女子医科大学	13	九州歯科大学	4	松本歯科大学	81
防衛医科大学校	10	獨協医科大学	132	東京歯科大学	73	朝日大学	34
上記以外、国公立 18 大学 67 名、私立 17 大学 780 名			日本大学・歯、松戸歯	140	福岡歯科大学	2	

※数字は1982年~2014年度の延べ人数※順不同

地区別学校説明会

詳細は本校ホームページでご確認下さい。

御茶ノ水

名古屋・静岡・横浜・高崎・新潟

水戸・宇都宮・郡山

… 9月21日€

… 9月28日 €

進学相談・学校見学随時受付中

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎ **049-232-3311**(入試室直通) http://www.shumei.ac.jp | 秀明学園 | | 検索。

みんなの写真館

















(社) 茨城県南歯科医師会 飯田 昭

会 員 数

平成26年6月30日現在

支	部	会員数(前月比)			
日	<u> </u>	121			
珂	北	142			
水	戸	156			
東西	茨城	73			
鹿	行	102			
土浦	石岡	174			
つく	(ば	116	+1		
県	南	179			
県	西	155	- 1		
西	南	106			
Ē	†	1,324	±0		

みんなの写真館写真募集!!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員1,139名2種会員46名終身会員139名合計1,324名



茨 歯 会 報

発行日 平成 26 年 7 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ http://www.ibasikai.or.jp/ E-mailアドレス id-O5-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘 編集人 菱沼 一弥



VEGETABLE OIL INK この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。